

SKB-WL17SETBK



USB



対応機種

Windows搭載 (DOS/V) パソコン・Nintendo Wii®・PlayStation®3などのゲーム機
(ただし、USBポートを持ち、パソコンの本体がUSBポートの動作を保証している機種)

※Wii®ではマウスは動作しません。キーボードのみ動作します。

対応OS

Windows 7・Vista・XP

最初に
ご確認ください。

セリア区画

- ワイレスキーボード 1台
- ワイレスマウス 1台
- 小型レシーバー 1台
- 単四乾電池 (キーボードテスト用) 2本
- 単三乾電池 (マウステスト用) 1本
- 取扱説明書 (本書) 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

2012.2

はじめに

このたびは、マウス付きワイレスキーボード「SKB-WL17SETBK」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、2.4GHzデジタル無線方式採用のワイレス日本語キーボード・ワイレス光学式マウスです。
(標準キーの配列は、109A日本語キーボードに準拠しています)

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがございます。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものとは異なることがあります。

⚠️ 取扱い上のご注意

- 航空機内では、計器に影響を及ぼす可能性があるためご使用にならないでください。
- 本製品は電気で動作しておりますので、発火する恐れがあります。万一煙が出たり変なにおいが出た場合は、本製品及び接続しているコンピュータや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。
- 雷がなっている時に、本製品に触れないでください。
 - ▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品のカバーを開けたり、分解しないでください。
 - ▲故障や感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
 - ▲本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
 - ▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
 - ▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管しないでください。
 - ▲故障・感電などの原因となることがあります。
- 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置かないでください。
 - ▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品は不安定な場所に設置したり、保管しないでください。
 - ▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
 - ▲定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
 - ▲塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内用に作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

本製品を使用する際の注意

本製品は2.4GHz周波数帯域を使用しています。
2.4GHzはBluetoothや無線LAN機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

この機器の使用周波数帯域は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

安全にご使用していただくために

本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。

- 製品を分解したり、改造しないでください。
- 0℃～40℃の気温環境でお使いください。
- 本製品に衝撃を加えないようにしてください。
- 保証規定をよく読み正しくお使いください。

健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

快適な使用方法

- 手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。
- 手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
- 肩に力を入れたり、肩をすくめず、余分な力を入れない。
- 15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
- 腕や肘を休めるため、手置き台(ハンドレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
- 画面を見るときは、心持ち視線が下がるように椅子の高さを調節してください。
- 窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することをお奨めします。
- キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにツメが2カ所ついています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

△注意 スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

2

特長

キーボード

- ラバードームでキートップを支える構造です。普通のキーボードより薄型でストロークが短くなっています。確実な押し心地はそのまま、軽いキータップでご使用いただけます。



- 底面に付いているスタンドで、角度調整が可能です。



- 小型レシーバー、2.4GHz帯の周波数を使用しているため、従来のワイヤレスと比べて電波の到達距離が格段に長くなっています。約10m離れた場所からでも快適に操作できます。

- PlayStation®3やWii®などの家庭用ゲーム機でも動作可能です。※Wii®ではマウスは動作しません。キーボードのみ動作可能です。

- メールやインターネットが一発で起動できるマルチメディアファンクション機能付きです。

マルチメディアファンクションキー

- ✉ …… メール：標準設定されているメールソフトを起動します。
- 🔍 …… 検索：Windows内の検索画面を表示します。
- 🌐 …… お気に入り：インターネットのお気に入りを表示します。
- 🏠 …… インターネット：ホームページを表示します。
- ▶/⏸ …… 再生/一時停止：音楽や動画の再生や一時停止をします。
- 🔊 …… ボリューム +：音量を上げます。
- 🔊 …… ボリューム -：音量を下げます。
- 🎵 …… 音楽プレーヤー：標準設定されている音楽プレーヤーを起動します。



△注意

※ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)は、このキーボードからは操作できません。

マウス

- 5ボタンで快適なパソコン操作が可能。カウント数切替ボタン付き。

- 光学式読み取りセンサー採用により、スムーズでストレスのない入力環境を実現します。マウスパッドの上はもちろん、机や紙の上、そして膝の上でも使用可能です。また、マウスボールがないのでマウス内部が汚れることなく、メンテナンスフリーです。

- 小型サイズのエルゴノミクス形状マウス。自然な手首の状態で作ることができるので、手首へ負担が軽減され、長時間使用していても疲れにくくマウス操作による腱鞘炎のリスクを軽減します。

- マウス本体にレシーバーを収納できるので、持ち運ぶ際も紛失の心配がありません。電池収納口とは別に、マウス裏面に差し込むだけの収納口があるので収納時の煩わしさがなく、簡単に収納できます。



3

特長(続き)



- ①ホイール(スクロール)ボタン
インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、前後に回転させて上下スクロールができます。
- ②③左ボタン・右ボタン
左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。
- ④⑤サイドボタン
④進む
⑤戻る
インターネット操作で便利な「戻る」「進む」の操作がスピーディーに行えます。
- ⑥1600・800カウント(カーソルスピード)切替ボタン
カウント切替ボタンを押すと、分解能を800→1600→800カウントに切替えることができます。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-Office 97用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

▲注意

- ※使用環境により使用範囲が短くなる場合があります。
- ※スチール製の机の上では正しく動作しないことがあります。

キーボード・マウスのセットアップ

- 1.パソコンのUSBポートを、確認してください。
(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています)
- 2.パソコンの電源が入っている状態(Windowsが完全に起動した後)で、パソコンのUSBポートに小型レシーバーのUSBコネクタを接続します。
- 3.「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現れます。
- 4.必要なドライバは数分で、順次自動的にインストールされます。
※「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。
ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。
- 5.以上でUSBレシーバーの認識完了です。

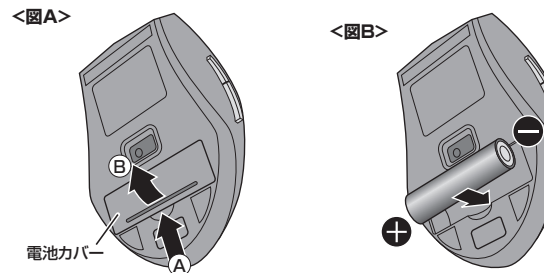


キーボード・マウスの準備

小型レシーバーをパソコンに接続し、正常にドライバのインストールが完了した後、キーボード・マウスに付属の電池を入れます。

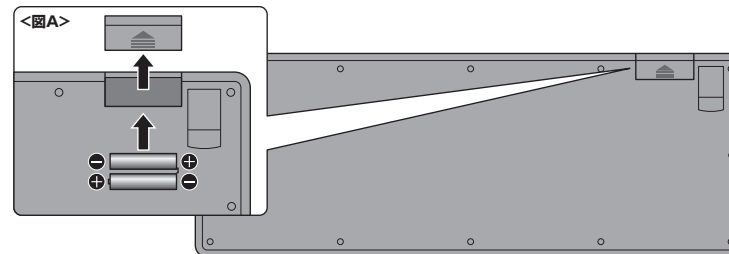
■マウスの準備

- 1.マウス裏面の電池カバーを(A)方向に押しながら(B)方向に持ち上げ、取外します。<図A>
- 2.付属の単三乾電池1本をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。<図B>
- 3.電池カバーを、取外したときと逆の手順で閉じます。
※付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなっています。
※空になった電池をマウス本体内に置いておくことと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。



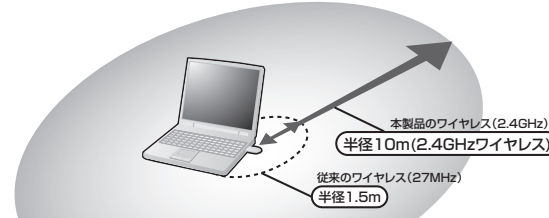
■キーボードの準備

- 1.キーボード底面の電池カバーを持ち上げ、取外します。<図A>
- 2.付属の単4乾電池2本をキーボードに入れます。※正しい極性で入れてください。<図A>
- 3.電池カバーを、取外したときと逆の手順で閉じます。



受信距離

レシーバーとマウス・キーボードの受信距離は最大約10mです。(障害物のない、直線距離の環境において)



※ただし、金属製の机など電波障害のおこりやすい環境でのご使用の場合、受信距離が短くなる場合があります。

